



～武蔵野市の福祉・ボランティア活動の「今」を届ける～

2024
10 月号
 武蔵野市民社協
 だより
 NO.368

ふねあい

武蔵野市民社会福祉協議会は社会福祉法に基づき、武蔵野市の地域福祉を推進する非営利福祉団体です。この広報紙では市内で行われる様々な福祉事業や地域の福祉活動についてお知らせしています。気になった事業や活動がありましたらお気軽にお問合せ・ご参加ください!



地域に暮らす「仲間」として、外国人を支えたい!

公益財団法人
武蔵野市国際交流協会 (MIA)
日本語交流員



近年、多文化共生という言葉を目にする機会が多くなりました。国籍や民族、文化、言語の異なる人々が、互いの違いを認め合い、地域社会の一員として共に暮らす社会づくりが求められています。武蔵野市でも多くの外国の方が生活されていますが、そのような方々と日本語を共通言語として関係を築き、武蔵野市での生活を支えるボランティア活動が行われています。



伏見さん

鈴木さん

今度は自分が助ける側に

伏見さんと鈴木さんは武蔵野市国際交流協会に所属する日本語学習支援ボランティア「日本語交流員」です。週3日開催される「MIA外国人のための日本語コース」でのグループ学習や情報交換、外国人とマンツーマンでの交流を楽しんでいます。

伏見さんは海外に住んでいたことがあり、その際、慣れない環境の中で現地の方々に助けてもらった経験がありました。日本に戻った後、外国人への感謝の気持ちから「今度は自分が助ける側になりたい」という思いがあり、日本語交流員としての活動を始めました。

鈴木さんはこれまでにお仕事で世界中の方々とコミュニケーションをとっていたこともあり、リタイア後に何か外国人の方々のお手伝いがしたいと思い、日本語交流員になりました。

日本語学習支援のグループ活動に参加したメンバーと一緒に



活動によって自分の世界が広がった

日本語交流員は初対面の外国人とゼロから関係を築き、慣れない土地に住む外国人が武蔵野市でより暮らしやすくなるようにサポートします。

伏見さんはこの活動を通じていろいろなバックグラウンドや価値観を持っている方々とコミュニケーションをとったことで自分の世界が広がったと感じています。鈴木さんは相手の話を傾聴することがとても大切だと感じています。違う価値観を理解し合うのはなかなか難しいものですが、それを乗り越えるために、コミュニケーションの中で相手の価値観に触れ、共感することで良好な関係を築くことができます。

日本語交流員の活動は国際交流協会が来年開催する日本語交流員養成講座を受けることで参加することができます。また、11月に開催されるむさしの国際交流まつりでも地域在住の外国人の方やボランティアと交流ができますので、関心のある方は参加されてみてはいかがでしょうか。

(取材・記事: 広報委員 松尾拓海)

日本語交流員の活動を希望する人は養成講座を受講することで多文化理解の手法や外国人がおかれた立場について学ぶ様々なプログラムに参加します

お問合せ

武蔵野市国際交流協会 (MIA)
武蔵野市境2-14-1 スイグ9階
TEL: 0422-36-4511



広告

高齢者講習 専用ダイヤル ☎ 0120-86-6343

お待ちしております!

お誕生日の5ヵ月前から受付しております。お早めにご予約下さい。

東京車人 検索

Sanwa Group

武蔵境自動車教習所

Contents もくじ

- 2面 ● 学習塾・受験料代などの教育資金貸付案内 ● ちょこっと出先で生活相談 ● 助成事業の下期募集 ● VCM活動展開案内 ほか
- 3面 ● ミニニュース ● 地域社協ニュース ● 寄付者一覧
- 4面 ● ボラカフェ2024開催案内 ● 赤い羽根共同募金

